

いじめ「きずな」サミットに参加して

樋渡亮介

僕は、11月30日に行われた、仙台市いじめ防止「きずな」サミットに、松陵中学校の代表として参加しました。

協議は、中学生3人、小学生4人の7人グループで行われました。まず、各学校で行われている「いじめ防止」に向けての様々な取組が紹介されました。例えば、全校で道徳の授業を行ったり、いじめ防止標語を作成したりと、いじめ防止への意識を高めるのに効果的な取組がいくつかあり、松陵中学校でも広く取り入れたいと思いました。グループ協議での話し合いの中で、印象的だった意見を紹介します。

「いじめ」はなぜ起こるのか、というテーマの中で出た意見で、「いじめ防止の取組のときだけ意識が高い人がある。」というものです。僕は「なるほど」と思いました。この問題の解決策は、「定期的な取組を行う」ことですが、それは簡単な事ではありません。それほどいじめ撲滅には大きなエネルギーが必要なのだと感じました。

印象的だった意見はもう一つあります。それは、「どうすればいじめはなくなるのか？」というテーマの中で出た「休み時間に1人でいる人を仲間に入れる」というものです。とても具体的で実行しやすいものだと思います、すぐに実行していこうと思いました。

しかしいじめ撲滅の基本は、相手の気持ちを考え、相手の立場を理解して行動、発言することだと思います。それが身に付いていないと、いじめが発生してしまう可能性が残ってしまうのです。

皆さん、いじめ防止のために、これまで学び、感じてきたことを実践していきましょう。そしていじめを許さないという意識を持ち続け、仲間の異変に敏感になり、仲裁者となる意識を持って生活することを心掛けていきましょう。